

砂防施設の効果事例

平成30年3月
国土交通省砂防部

砂防施設の効果事例(1)

- 東京都大島町(伊豆大島)
平成25年台風26号により、土石流が発生。死者36名、行方不明者3名他。
同一地域内において既に整備されていた大金沢本川堆積工は、土石流を捕捉し、
下流への被害を防止。(大量の流木も捕捉。)



土石流・流木の捕捉状況
おおがねさわ
(大金沢本川堆積工)
(高さ3.0m、長さ105.8m)



おおしま かんだつ
大島町神達地区の被害状況

砂防施設の効果事例(2)

- 広島県広島市安佐南区・安佐北区
平成26年8月豪雨により、土石流が発生。死者77名(災害関連死3名含む)他。
隣接地域で整備されていた大町7号砂防堰堤は、土石流を捕捉し、下流への被害を防止。



土石流の捕捉状況
おおまち
(大町7号砂防堰堤)
(高さ9.0m、長さ32.0m)



砂防堰堤未整備の
隣接地域では
土石流被害が発生



あさみなみ
安佐南区の被害状況

砂防施設の効果事例(3)

- 栃木県日光市芹沢地区
平成27年9月関東・東北豪雨により、土石流が発生。負傷者1名他。
同地区内において整備されていた田茂沢第1・2号砂防堰堤は、土石流を捕捉し、
下流への被害を防止。



土石流の捕捉状況
たもさわ
(田茂沢第1砂防堰堤)
(高さ12.5m、長さ43.0m)



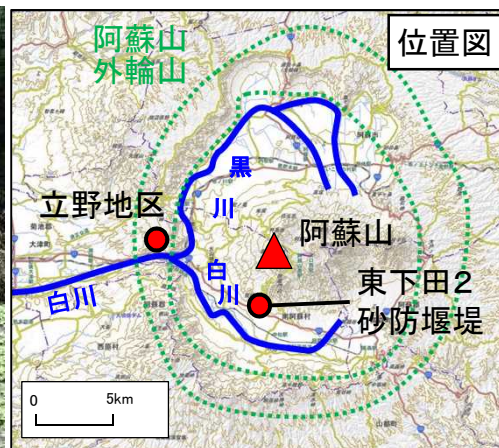
せりさわ
芹沢地区の被害状況

砂防施設の効果事例(4)

- 熊本県南阿蘇村等
平成28年熊本地震後の降雨により、複数箇所です土石流が発生。
同一地域内において整備されていた東下田2砂防堰堤は、土石流を捕捉し、
下流への被害を防止。



土石流の捕捉状況
ひがししもだ
(東下田2砂防堰堤)
(高さ8.5m、長さ58.7m)



みなみあそ たての
南阿蘇村立野地区の被害状況

砂防施設の効果事例(5)

- 福岡県朝倉市
平成29年7月九州北部豪雨により多数の斜面崩壊等が発生したが、
既設砂防堰堤が大量の流木を捕捉し、下流の人家等への被害を軽減。



流木の捕捉状況
すがわ
(須川第1砂防堰堤)
(高さ7.0m、長さ74.8m)



流木の橋梁閉塞による氾濫被害(赤谷川)



流木による家屋被害(奈良ヶ谷川)

砂防施設の効果事例(6)

○ 福岡県朝倉市杷木星丸地区

平成29年8月九州北部豪雨により多数の斜面崩壊等が発生したが、急傾斜地崩壊防止工事を実施した地区では、施設が家屋被害を防止。

